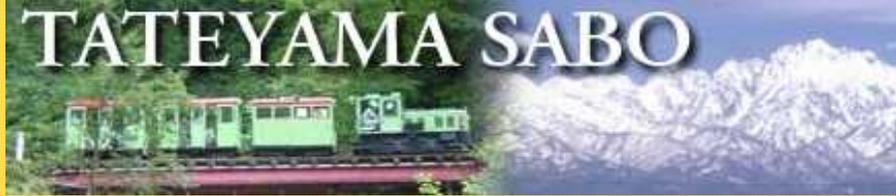


万が一に備えて軌道事故救助訓練を実施



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には工事関係者以外に、富山県が主催し立山砂防事務所が協力している「立山カルデラ砂防体験学習会」や、立山砂防事務所が主催する行政関係者を対象とした視察のために、一般の方々等年間約2千人が乗車しています。

そのため、立山砂防事務所では、トロッコの事故発生時に関係機関が連携して迅速な対応を図ることを目的として、平成21年度から年1回事故救助訓練を実施しています。今回、トロッコ乗車中に落石による人身事故が発生したと想定して、救急車が実働参加する事故救助訓練や情報伝達訓練を、関係機関及び軌道関係受注者等53名の参加で実施しました。

○実施日時

平成27年7月28日(火)9時50分~11時45分

○訓練場所

立山砂防事務所災害対策室及び工事専用軌道大谷橋上流付近(立山砂防事務所の上流3.5km中小屋連絡所付近)

○参加機関

立山砂防事務所、富山県砂防課、立山カルデラ砂防博物館、上市警察署、立山町消防本部、軌道関係工事受注者



実働訓練の様子



重傷者の搬出訓練(現場)



担架による搬送訓練(現場)



担架搬送りヤカーによる搬送訓練(現場)



事故対策本部情報伝達(立山砂防事務所内)

落石による車輛状況確認(現場)

救急車の実働訓練(現場)